

現在の担当業務は

山形県内で住宅を新築する方や、リフォームをする方に補助金を交付する業務を担当しています。中でも新築住宅補助金の要件である「やまぼっかの家」は、高い気密性能と断熱性能を備えた、冬は寒く夏は暑い山形の気候においても一年を通して健康的でエコに生活できる住宅です。この補助金によって、県内に「やまぼっかの家」が普及することで、県内に住む多くの人の住環境をより良いものにできることがこの仕事の魅力です。

県職員を選んだ理由は

山形を離れた大学時代に、初めて外から地元を見る経験をする中で、山形がとても魅力に溢れた街だと気付く経験をしました。大学で学んだ建築という分野から地元貢献したいと思ったので、山形県職員建築職という仕事を選びました。



図面の審査

ワーク・ライフ・バランスは

夏季休暇をまとめて取得して旅行に行ったり、土日は同期とBBQをしたり、仕事終わりに職場の先輩とバスケットボールをするなどして楽しんでいます。休みを満喫することで、仕事にもフレッシュな気持ちで望めていると感じています。

県職員に興味がある方へメッセージを

県職員の技術職という仕事は、身に付けた専門スキルが、山形県民のために役立っていることをより強く実感できることが魅力だと思います。皆さんも山形の発展のため、そして県民の方々の幸せのために、培ってきた専門の知識や技術を活かしてみませんか？皆さんと一緒に働けることを楽しみにしています。



「やまぼっかの家」啓発グッズ



荒木 秀太
県土整備部建築住宅課
(令和7年度採用)

ある1日の流れ



8:30

業務開始、メールのチェック

9:00

住宅リフォーム補助金 交付決定作業

10:30

新築住宅補助金 総合支庁からの問合せ対応

12:00

休憩（お昼はお弁当）

13:00

県内建設業者との打合せ

14:00

打ち合わせの報告書作成

15:00

新築住宅利子補給制度 支出業務

17:15

業務終了